

選挙公報

午後8時まで投票できます
横浜市選挙管理委員会

もっと笑顔に！もっと良い未来へ！ 切実な声を市政に

かじおが目指す
4つのビジョン



HPIはこちら



かじお あきら

立憲民主党公認

- I 見守り、支え合いのまちづくり**
 - 一人ひとりが地域の中でつながり、いつまでも孤立することなく暮らせるように、見守り、支え合いを実感できるまちづくりに取り組みます。
 - 認知症高齢者の見守り強化
 - 障がい者に対する知識の普及と理解促進
 - 在宅医療介護の充実
 - 地域とつながる商店街の活性化支援
- II 元気で健やかに暮らせるまちづくり**
 - 日常生活の利便性向上、高齢者・障がい者への支援、切れ目のない子育て支援、就労支援、文化芸術・スポーツ振興に取り組みます。
 - 認知症、生活習慣病、がん検診などの予防医療の強化
 - 働く世代の安定雇用と高齢者、障がい者の就労機会の創出
 - 小児医療費無償化のさらなる拡充(18歳まで)
 - 第2子以降の保育料の負担軽減
 - 全員食糧に向け中学校給食のさらなる改善
 - 自分らしさを発揮し活躍できるジェンダー平等な社会

1969年3月9日生まれ。大阪芸術大学芸術学部写真学科卒業。2019年4月、横浜市議会議員初当選。フォトグラファー、フォトスクール講師、元衆議院議員公設第一秘書。2022年度、健康福祉・医療委員会委員

実現力No.1/3期12年間の地域実績は300件以上!

この4年間の
主な実績

- 物価対策 国と連携し電気・ガスの負担軽減、「レシ活」(効果350億円)や給食費の値上げ抑制を実現。
- 地元実績 上大岡駅エレベーター2基設置、大規模リニューアルによるバリアフリーを実現しました。
- 行政改革 LINEによる道路損傷通報システムを提案・導入など、行政のDX化を進めました。
- 子育て支援 小児医療費助成の所得制限撤廃、全額助成を実現しました。(中学3年生まで) 2026年度からの中学校「全員給食」を実現しました。

安西ひでとし 4つのお約束

- 1 物価高対策を推進**
 - 公的資金で「レシ活」に代表される物価高対策、低所得世帯への給付金など、更なる対策を講じます。
 - 中小企業の資金繰り支援を拡充、インボイス制度の円滑導入に向けた支援の充実に努めます。
- 2 子育て世代を応援**
 - 小児医療費助成を高校3年生まで拡充します。
 - 出産費用補助の拡充を進めます。(県平均の56万円へ)
 - 児童手当の増額、所得制限撤廃、18歳までの拡大を進めます。
- 3 安心の暮らしを約束**
 - 特別養護老人ホームや在宅支援を充実させます。
 - 認知症を早期診断するための「認知症疾患医療センター」を市内全18区に設置します。
 - 学校体育館へのエアコン設置、公共施設に通信環境(Wi-Fi)整備で、防災・減災を進めます。
- 4 港南と社会の新たな課題を解決**
 - 新たな地域交通で、区民の「暮らしの足」を守ります。
 - 上大岡駅・永谷駅のリニューアル、市営野庭住宅の再整備を着実に進めます。
 - 脱炭素化、デジタル化(デジタルデバイドの解消含む)、多様性が尊重される社会を実現します。

安西ひでとし プロフィール

港南区生まれ52歳/下小学校卒/下中学校卒/清水ヶ丘高校卒(横濱清陵高校)/法政大学卒/大手商用車メーカーでノンステップバス設計などに従事。2011年横浜市議会議員に初当選し、現在3期目/防災士



安西 ひでとし

公明党公認

〔52歳〕

あんざい
ひでとし

「無所属」の力で市民の声を反映する 「横浜」市政へ

- ①経済活性化・街づくり支援!**
山下ふ頭開発・上瀬谷通信施設の開発と共に港南区・横浜南部の自然、文化技術を活かした開発を積極的に推進し横浜市全体の経済の活性化を目指します!!
- ③国際性豊かな活気ある社会づくり!**
中小企業のIT・DX化支援・大企業や優良スタートアップの積極的誘致と外国人労働者拡大の支援とインパウンド需要拡大!!

- ②医療・福祉・社会保障・子育て支援!**
市長の「小児医療費の完全無償化」、「出産費用の無償化」、「敬老バスの無料化」政策支援と共に、高度医療・研究の支援、高齢者・障害者の家族の支援拡大を目指します!!
- ④スキルアップによる産業の活性化!**
幼児・小中高・大学から再教育・海外留学まで、すべての人がより良い教育・活躍する場の拡大支援。予備自衛官支援!農業支援!

皆でより良い横浜に!



上出 剛久

かみで

上出剛久 経歴 横浜市立大学卒 会社員(主にITエンジニア・ヘルスケア関連) 横浜市立大学医学部研究科卒 現職 個人事業主(主にエンジニア 不動産関連)

私は平成15年、10,713名の方々のお力添えで初当選させていただき、以来5期20年、「市政へ…選ばれ応えていく責任」を、政治信念に「地域の力を活かし、もっと住み良い港南区」の構築へ、議会活動に邁進してまいりました。願いは、皆様とともに「故郷と思えるまち港南区」を創り上げ、次世代につなげていくことです。

- 健康で生き生きと暮らせるまち
- 高齢者の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らせる。地域包括ケアシステムの構築
- 命を守る救急医療体制と、的確な病診連携
- より地域医療の提供
- コロナ対策を教訓とした感染症対策と危機管理体制の構築
- 安全・安心して暮らせるまち
- 治安の良いまちへ：自治会・町内会の防犯カメラ設置などへ支援強化
- 安全・安心な暮らしへ：防災、防犯に関する区役所からの情報提供の充実
- 消防団の充実や地域の防災活動へ支援、地域防災拠点の機能強化など災害対策の充実
- 災害時に地域避難所となる小中学校の体育館の空調設備の設置
- 未来を担う子ども達を育むまち
- 子育て世代への直接支援。妊娠・出産・子育ての経済的支援
- 保育・幼児教育の確保。保育・幼児教育を担う人材の確保と良質な教育環境の提供
- 子どもが安全・安心で快適に利用できる公園づくり



せのま 康浩

自民党公認

やすひろ
康浩

●昭和35年港南区生れ ●永野小・上永谷中学校、武相学園高等学校、昭和58年多摩芸術学園絵画学科卒 ●平成15年横浜市議会議員初当選 以後連続5期当選 武相学園理事 野庭聖佳幼稚園理事

街に出る!現場に出る! 未来のヨコハマのために 出前の政治 経済活性化を推進

未来のヨコハマのために財政健全化と経済活性化で賑わいのある横浜実現へ!世界に誇る安心安全な街、誰もが住んでいて良かったと思えるYOKOHAMA創りに邁進します。

**菅義偉前総理とともに
横浜・港南区の成長へ**

菅前総理の「留守番隊長」として横浜市民の声を国へ届け、国政との連携にも取り組んでいます

☆推薦します 衆議院議員 菅 義偉 特別区議員 桐生 秀昭

- 主な経歴**
- 港南区上大岡にて出生
 - 横浜市立桜岡小学校卒業
 - 関東学院六浦中・高卒業
 - 明治大学文学部卒業
 - (社)横浜青年会議所理事長
 - 日本青年会議所政治対策特別委員長
 - 第37代横浜市議員
 - 港南区子ども会連絡協議会会長
 - 港南区サッカー協会顧問
 - MTRポリタン少年サッカー大会副会長
 - 港南区小学生野球連盟会長
 - かん撲減横浜市民議員連盟会長
 - 動物との共生を考える横浜市議員連盟会長



たのい 一雄

自民党公認

カジノを止めた市民と共に 新しい市政をもっと前へ

- みわ やります!**
- 小児医療費** 18歳まで無償化 出産費用ゼロ
- 学校給食** 学校調理の中学校給食 給食費無償化
- 特養ホーム** 待機期間短縮 補聴器補助
- 地域交通** 通学路の死亡事故ゼロ バス路線ミニバス拡充
- 気候危機** 打・再エネ・省エネで脱炭素、原発ゼロ
- ジェンダー** 賃金格差解消、ハラ等 スメント・痴漢根絶
- 大型開発見直し** 不要不急な大型公共事業 災害に強いまちづくりへ
- 開かれた議会へ** 政務活動費領収書のネット公開 議員歳費の適正化検討

あきらめない

港南区内4か所のくらしの相談センターを12年間運営。毎年区役所土木事務所・警察署に区民の声を届けてきました。声を聞き即現場につなげてきました。カジノより中学校給食で無料化、こどもの医療費中3まで無料化をこの度の選挙で実現。皆さんと共に新しい横浜を前に動きます。

8年がかりで、地下鉄上大岡駅地上までのエレベーター新設
蜷の郷上郷猿田開発事業ストップに野庭巡回バス・芹谷川河川改修



みわ 智恵美

日本共産党市会議員

【みわ智恵美プロフィール】 横浜市議2期目(任期)県議2期、芹が谷中PTA会長、幼稚園父母の会会長、小学校教諭8年、広島大学卒業、1953年岡山県生まれ、家族は夫と2女、孫2人。上大岡東在住

身を切る改革+徹底した行財政改革=次世代への投資

- 教育の無償化、給食の無償化(子育て費用の6割が教育費)▶少子化を止め、高齢者層を支える
- 1 身を切る改革の断行 議員の利益優先ではなく、横浜市民の利益優先 議員の覚悟を示す**
 - 毎月 議員歳費(給料)の2割を被災地等へ寄付する
 - 費用弁償の交通費支給 議会1日2千円支給を受拒拒否 法務局へ供託
 - 多額の税金投入の地方議員年金復活を反対する
 - 2 徹底した行財政改革**
行政の協力を得て、事業の見直しや統合を実施し、財源を捻出する
 - 3 教育の無償化・給食の無償化・出産費用の無償化**
身を切る改革+行財政改革+新たな財源確保で捻出した財源で実施できるように活動する。中学校給食はまず全員給食をテリバリー弁当で実施し親子方式や中学校内調理ができることから段階を経て、温かい給食へと順次移行する。給食センターも検討
 - 4 保育児童解消と病児保育室整備拡充**
希望する保育所へ入れない保育児童の解消、港南区は保育児童数が多く優先的に認可保育所を設置する。二一歳の高い病児保育室を整備拡充する
 - 5 ベーシックインカム(最低所得保障)導入**
日本国民なら誰もが毎月7万円程度もらえる最低所得保障制度を導入すべく国政と共同歩調で推進。65歳以上には約15万円の年金を支給。



山田 洋文

日本維新の会公認

ゆいちゃん